

第3学年 国語科学習指導案

令和2年11月26日 水曜日 第3校時
越知町立越知小学校
3年 児童数 32名
場所 3年生教室
指導者

- 1 単元名「人物リーフレット」で心に残ったことを伝え合おう。
教材名「モチモチの木」(東京書籍 3年下)

2 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領の以下の指導事項を受け、設定している。

【学習指導要領における指導事項】

第3学年及び第4学年 指導事項

【知識・技能】

- (1) オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

【思考・判断・表現】

○読むこと

- (1) エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。
(1) カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

【主体的に学習に取り組む態度】

「学びに向かう力、人間性」

言葉が持つよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。

本単元では、教材「モチモチの木」を読み、「読むこと」の言語活動例「イ 物語や詩を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」を具体化したものとして、「人物リーフレット」で心に残ったことを伝え合おう」という活動を単元のゴールに設定している。そして、本教材の作者、斎藤隆介の作品を並行読書として取り入れ、「モチモチの木」のように、登場人物の気持ちの変化や性格に着目して物語を読み進め、心に残ったことや感じたことなどを基に物語を紹介するという活動につなげていく。

本教材は、「すいせんのラップ」、「はりねずみと金貨」、「サーカスのライオン」(3年上)に続く文学的文章であり、今後、「ゆうすげ村の小さな旅館—ウサギのダイコン—」(3年下)につながっていく。本教材、「モチモチの木」は、中心となる人物である豆太の成長が描かれており、臆病な豆太がじさまの病気に際し、一人真夜中の道を医者様を呼びに行き、そこで、勇気のある子どもしか見られない山の神様のお祭りを見るという物語である。文章構成の特質としては、

5つの場面が小見出しで明確に分けられていることから、物語の出来事やあらすじが捉えやすい。また、文章表現の特質としては、豆太の気持ちや行動が「語り手」による温かい民話調の言葉で語りかけるように表現されていることや、作者の語り口調の中にも豆太からの視点がいくつも書かれていることから、豆太の性格や様子、気持ちなどを想像しながら読むことができる。このようなことから、登場人物の気持ちの変化や人物像を読み取り、表現するのに適した教材であるといえる。

○児童観

本学級の児童は、「すいせんのラッパ」や「はりねずみと金貨」、「サーカスのライオン」などの文学的文章を読む経験をしてきている。「すいせんのラッパ」では、場面ごとに登場する人物の特徴や様子が分かる言葉や文に着目して読み、音読発表会で交流した。また、「はりねずみと金貨」では物語の出来事を捉え、大事な言葉に注意してあらすじをまとめ、「あらすじボックス」を作り紹介する学習を行った。さらに、「サーカスのライオン」では、中心となる人物の気持ちの変化を読み取り、「じんぎ日記」にまとめ読み合い、考えたことを伝え合う学習を行ってきている。

これらの学習を通して児童は、登場人物の様子や行動、気持ちについて根拠となる叙述を挙げ読むことができるようになってきた。しかし、場面を比べて登場人物の変化を読み取ったり、いくつかの叙述を基に登場人物の気持ちや人物像について想像したりする力は十分に身につけていない。また、班やグループ等の交流において、伝える相手を意識して、自分の立場を明らかにして意見を述べたり、自分の考えの根拠を説明したりする力は不十分である。

そこで国語科では、児童の初発の感想から出た「疑問に思ったこと」や「考えたいこと」から学習計画や課題を立て、児童の思考を整理しながら文章を読み進めている。また、毎時間の見通しの場面では「学習内容」と「学習方法」を分け、「①～に赤線を引く」、「②～に矢印を引く」など具体的に操作の手順を示すことで、一人で文章を読むことができるような取組を進めている。さらに、班活動やグループ活動での、自分の意見や考えの発言の仕方について「わたしは、(立場)と考えます。理由は～」のように例文を示したり、分かりやすい発言をした児童の「どの部分がよかったか」などを問うたりして、相手を意識した説明の仕方や考えの述べ方について支援をしている。

○指導観

単元の指導にあたっては、単元のゴールである『『人物リーフレット』で心に残ったことを伝え合う』活動に向けて、段階的に学習を進めていきたい。まず、第一次では、教師が作成した「人物リーフレット」を見て、単元のゴールイメージをつかむとともに、読書への意欲が持てる導入とする。「モチモチの木」の学習後、他の斎藤隆介の作品の中から気に入った物語を選び、「人物リーフレット」で心に残ったことを伝え合おう」という学習のめあてを掴ませ、並行読書に取り組みさせる。

第二次では、「モチモチの木」の登場人物の設定や状況を捉え、豆太とじさまがどんな人物なのか、行動や会話文などの叙述を基に想像して読んでいく。特に豆太の人物像やその成長については、「神様の祭り」に対するじさまと医者様の言葉や最初の場面と最後の場面の豆太の様子を比べる活動を通して、「豆太は勇気のある子どもと言えるか」について、考えを深めさせたい。同じ叙述を考えの根拠としても登場人物の気持ちや性格の表現が異なったり、登場人物の気持ちや人物像について同じような表現で説明していても、根拠となる叙述が別であったりするなど、ペア学習やグループ学習を行う中で、自分と友達の感じ方の共通点や相違点に気づかせ、物語を読み味わえるようにしていきたい。そして、お気に入りの斎藤隆介の作品について、「人物リーフレット」をまとめる活動に繋げていく。

第三次では、お気に入りの斎藤隆介の作品で作成した「人物リーフレット」を使って心に残ったことを伝え合う。登場人物の性格や気持ちがどのように変化したのかについて、根拠となる叙述を示しながら紹介し合うことで、単に作成した「人物リーフレット」を紹介するだけではなく、その物語の文章に返って意見や感想を述べ、交流できるように

仕組んでいきたい。

本時では、初発の感想で大半の児童が考えるであろう「本当にモチモチの木には灯がついたのか」という課題から学習を進める。「霜月二十日のぼん」のじさまの言葉と「豆太は見た」での医者様の言葉を比べたり、じさまの豆太への思いを読み取らせたりして、自分の考えをもたせたい。また、立場の異なる友達や、根拠とする文が異なる友達の考えや意見を聴き、自分の考えがどのように変わったのか、また深まったのかを振り返るようにしたい。本時で出てくるであろう「勇気のある子どもにしか見えない神様のお祭りを見た豆太」という読み取りを、次回の導入に用いて、「豆太は勇気のある子どもと言えるのか」という課題にもつなげていきたい。

3 単元の目標

【知識・技能】

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句について知り、友達と考えや意見を伝え合う時や文章を書く時に使うことができる。(1)オ

【思考・判断・表現】

「読むこと」

- ・登場人物の気持ちの変化や性格について叙述を基に想像して読み、自分の言葉で表現することができる。

C(1)エ

- ・物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているかを明らかにしながら話し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。C(1)カ

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・登場人物の人物像や気持ち、その変化について具体的に想像し、心に残ったことについて、進んで伝えようとしている。

4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 様子や行動、気持ちや性格を表す語句について知り、友達と考えや意見を伝え合う時や、学習の振り返りや「人物リーフレット」で文章を書く時に使うことができる。【(1)オ】	① 登場人物の気持ちの変化や性格について叙述を基に想像して読み、自分の言葉で表現することができる。【C(1)エ】 ② 物語を読んだ感想を、どの叙述に基づいているかを明らかにしながら話し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。【C(1)カ】	① 登場人物の人物像や気持ち、その変化について具体的に想像し、心に残ったことについて、進んで伝えようとしている。

5 指導と評価の計画 全10 時間（本時7／10）

時数	○指導のねらい(目標) ・学習内容・学習活動	評価					
		知	思	主	評価規準	評価方法	
第一 次	1	○「モチモチの木」の全文を読み、初発の感想を書き、学習計画を立てることができる。 ・物語を読んで初発の感想を書く。 ・「モチモチの木」と並行読書で気に入った作品についての「人物リーフレット」を作成し心に残ったことを伝え合う」計画を立てる。 ㊦ 語句の読み方や意味調べ		○		朗読を聞き、読み取ったことを基に、感想を書くことができている。【思判表②】	・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察
	2	○初発の感想を交流し、学習の見通しをもつことができる。 ・感想を基に、前時に出た各時間の課題を交流する。 ・音読をし、語句の読み方や意味を調べる。 ㊦ 「時」、「場所」、「人物」を調べる段落番号をふる		○		「人物リーフレット」を作成し心に残ったことを伝え合う」という学習課題を理解し、学習の見通しをもって学習しようとしている。【主①】	・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述への観察
第二 次	3	○「モチモチの木」の物語の大体を捉えることができる。 ・登場人物を確認する。 ・語り手について知る。 ・登場人物の設定や状況、展開を捉え、100字以上200字以内であらすじをまとめる。 ㊦ ・モチモチの木について書かれているところに線を引く ・気づきをメモする	○			登場人物を捉え、物語の大体の流れをつかむことができる。【知技①】	・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察
	4	○「モチモチの木はどんな木か」について、叙述を基に想像することができる。 ・マトリックス図を使って、モチモチの木について考える。 ・モチモチの木はどんな木なのか叙述を基に想像する。 ㊦ ・じさまについて書かれているところに青線を引く ・気づきをメモする		○		叙述を手がかりに、モチモチの木がどんな木なのか叙述を基に想像しながら読んでいる。【思判表①】	・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察

5	<p>○「じさまの豆太への思い」について、叙述を基に想像することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じさまの会話をや行動を付箋に抜き出す。 ・マトリックス図を使って、じさまの豆太への思いを考える。 ・じさまの会話や行動から、じさまの性格や豆太に対するじさまの気持ちを想像する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ⑧・豆太について書かれているところに青線を引く ・気づきをメモする </div>	○	<p>○</p> <p>会話や行動を手がかりにじさまの性格や気持ちを想像しながら読んでいく。【思判表①】</p> <p>○</p> <p>様子や行動、気持ちや性格を表す語句について知り、使うことができる。【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察
6	<p>○「豆太はどんな人物か」について、叙述を基に想像することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆太の会話や行動を付箋に抜き出す。 ・マトリックス図を使って、豆太の人物像を考える。 ・豆太の性格やモチモチの木とじさまに対する気持ちを想像する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ⑧「霜月二十日のぼん」と「豆太は見た」を読んで、自分の考えを書いてくる。 </div>	○	<p>○</p> <p>会話や行動を手がかりに豆太の性格や気持ちを想像しながら読んでいく。【思判表①】</p> <p>○</p> <p>様子や行動、気持ちや性格を表す語句について知り、使うことができる。【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察
7 (本時)	<p>○「モチモチの木には灯がついたのか」について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチモチの木についてのじさまと医者様の言葉を比べて考える。 ・豆太へのじさまと医者さまの言葉を比べて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ⑧「おくびょう豆太」と「弱虫でもやさしけりゃ」を読んで、自分の考えを書いてくる。 </div>	○	<p>○</p> <p>根拠となる文や言葉を明らかにし、それを解釈しながら課題に対する考えをもつことができている。【思判表①】</p> <p>○</p> <p>登場人物の気持ちや人について具体的に想像し、自分の言葉で伝えようとしている。【主①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の観察 ・発言の様子の観察 ・ノートへの記述の観察

	8	<p>○「豆太は勇気のある子どもと言えるか」について考えることができる。</p> <p>・豆太の何が変わったのか(何が変わっていないのか)について考える。</p> <p>・そんな豆太をどう思うかについて考える。</p>		○	<p>自分の考えがどの叙述に基づいているかを明らかにしながら話し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができている。【思判表②】</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・ノートへの記述の観察</p>
		<p>㊦「人物リーフレット」を仕上げ、自分の言葉で伝えることができるよう発表の練習をする。</p>		○	<p>登場人物の人物像や気持ちの変化について具体的に想像し、自分の言葉で伝えようとしている。【主①】</p>	
	9	<p>○「モチモチの木」について、「人物リーフレット」を基に、心に残ったことや感想を伝え合うことができる。</p>		○	<p>同じところやちがうところを考えながら、話し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができている【思判表②】</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・「人物リーフレット」への記述の観察</p>
		<p>㊦齋藤隆介の作品の中から、紹介したい本を選ぶ。</p>		○	<p>一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができている。【思判表②】</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・「人物リーフレット」への記述の観察</p>
第三次	10	<p>○自分が選んだ齋藤隆介の作品の「人物リーフレット」を作り、心に残ったことや感想を伝え合うことができる。</p> <p>・登場人物の気持ちの変化や性格について、叙述を基に想像して読む。</p> <p>・友だちの感想を伝え合う。</p>		○	<p>登場人物の人物像やその変化に着目して読みさまざまな本を進め、進んで読書活動に取り組もうとしている。【主①】</p>	<p>・学習活動の観察</p> <p>・発言の様子を観察</p> <p>・「人物リーフレット」への記述の観察</p>

6 本時の指導(7/12時)

(1) 本時の目標

根拠となる文や言葉を明らかにしながら、課題に対する自分の考えをもち、伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

◎根拠となる文や言葉を明らかにし、それを解釈しながら課題に対する考えをもつことができている。【思判表①】

◎登場人物の気持ちや人について具体的に想像し、自分の言葉で伝えようとしている。【主①】

(3) 準備物

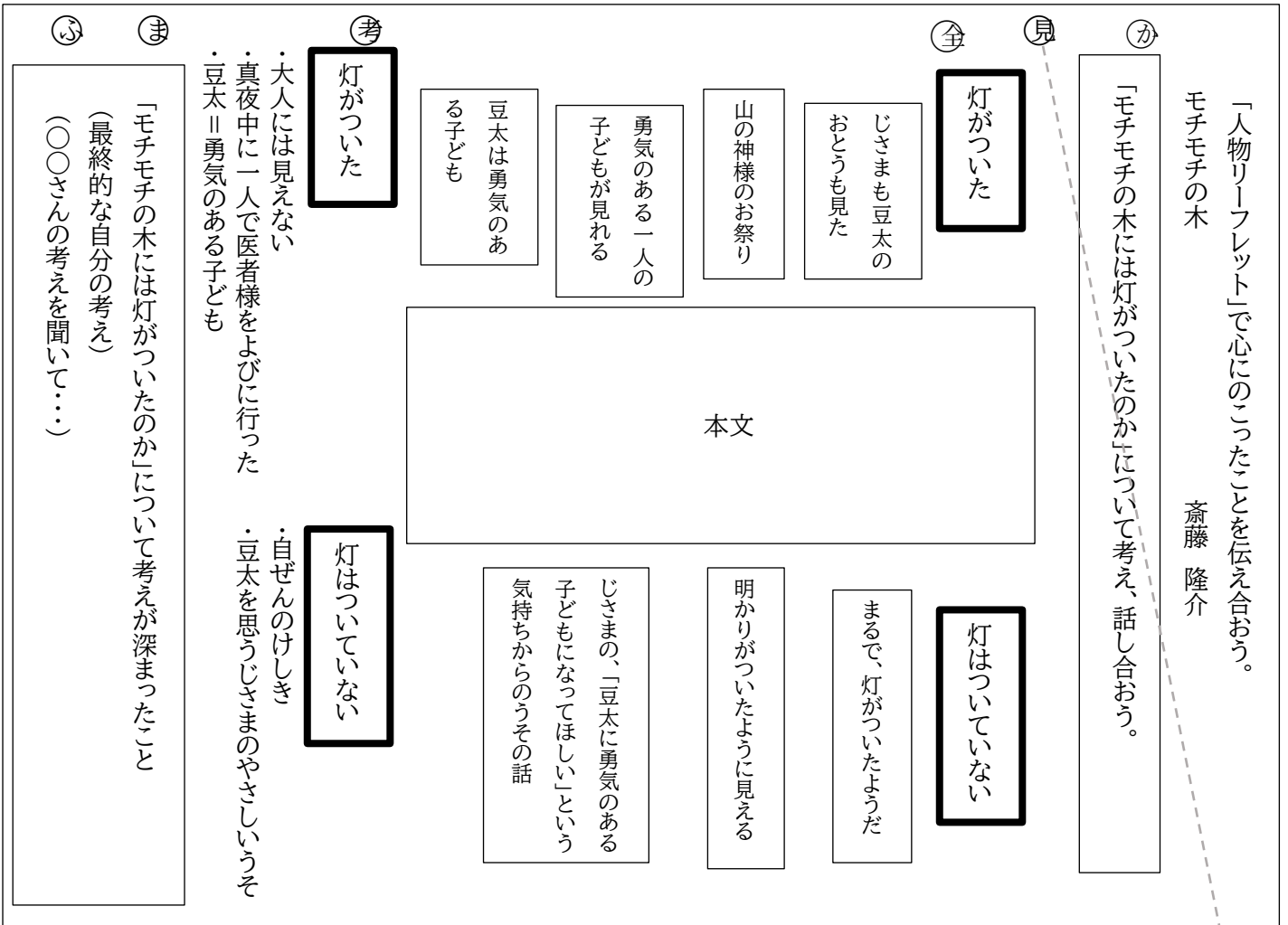
教科書の拡大

(4) 本時の学習の展開

学習過程	学習活動(○発問・児童の活動)	指導上の留意事項 ◎評価規準(評価方法)
【導入】 (2分)	1 前時までの学習を振り返る。 ○前時の学習の振り返りをペアで伝え合ひましょう。 ・前の時間は「豆太はどんな人物か」について考えました。 ・「モチモチの木には本当に灯が付いたのか」という課題についての自分の考えを書きました。	・前時の学習で学んだことやキーワードを教室に掲示しておく。 ・話し合う時間を十分に確保するために、家庭学習などの時間を活用し、事前に課題について自分の考えを持っておくようにする。
【展開】 課題把握 (4分)	2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">㊦ 「モチモチの木には灯がついたのか」について考え、話し合おう。</div>	
見通し	3 学習の流れを確認し、見通しをもつ。 ≪グループ学習(15分)・全体学習(10分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)≫ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <u>学習内容</u> 「モチモチの木には灯がついたのか」について、どこから考えたのかを示しながら自分の考えを伝える。 <u>学習方法</u> 自力解決・・・①自分の考えをノートに書く。 (線を引いたところを参考に) ②短冊に書く。 グループ学習・・・①短冊を見せ、「どこからそう考えたのか」を示しながら話す。 ②短冊をもとに、「質問」をしたり、「にている点」、「ちがう点」を話し合ったりする。 全体学習(考察)・・・㊦についての考さつを行う。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 言語わぎ：どこから考えたのか(根拠)をもとに自分の考えを伝えよう。 キーワード：会話文 行動(地の文) 気持ち 人から </div>
解決活動	4 課題について話し合う。 (1)代表児童の発表を聞く。 ・ぼくは、「モチモチの木には灯はついていない」と思う。理由は、医者様が言うように「とちの木の後ろにちょうど月が・・・明かりがついたように見える」から。 ・私は、「モチモチの木には灯がついた」と思う。理由は、じさまが言うように「霜月二十日の・・・山の神様のお祭り」だから。 グループ学習(15分) (2)グループで話し合う。 ①短冊を見せ、自分の立場と、どこからそう考えたのか(根拠)を示しながら話しましょう。 ②短冊やその根拠をもとに、質問・にている点・ちがう点を話し合ひましょう。 全体学習(15分) (3)グループで話し合ったことをもとに、全体で共有する。 ○自分の考えと比べながら話し合ひましょう。 ・ぼくは、○○さんと立場は同じで、「モチモチの木には灯が	・学習の見通しが持っているかハンドサインチェックを行う。 ・見通しが持っていない児童には、掲示物や今までノートなど、考える手がかりとなるものを示す。 ・課題に対する考えの表し方について共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> わたしは、(立場)と思います。 理由は、(叙述を示しながら)～からです。 </div> ・自分の考えは、代表児童のどの考えと近いのかなど、自分の考えと比べながら聞くように促す。 ・本文を掲示したホワイトボードを使って、それぞれが考えた短冊を出し合ひ、根拠となる文とつなぐなど、整理しながら話し合いを進めてくようにする。 ◎登場人物(豆太・じさま・医者様)の気持ちや人物像について想像し、自分

<p>・考察</p> <p>まとめ (4分)</p>	<p>ついた」と思う。理由は(ちがって)、じさまが「勇気のある子ども」だけ見えると言っていて、豆太は真夜中にじさまのために医者様を呼びに行けるほど、「勇気のある子」になったから。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。 ○友達の考えを聞いて、今日の課題に対する自分の考えをまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤ わたしは、「モチモチの木には灯がついた」と思う。理由は、大人になったじさまや医者様には、モチモチの木には灯はともっていないように見えるけど、じさまを助けるために真夜中に一人で医者様を呼びに行った「勇気のある豆太」が見たのは「灯がともったモチモチの木」だと考えたから。</p> </div>	<p>の言葉で伝えようとしている。【主①】 (短冊・発言)</p> <p>・話し合いを通して、自分の考えがどのように変容したのか、結論づいたのかを各自でまとめさせる。</p> <p>◎根拠となる文や言葉を明らかにし、それを解釈しながら課題に対する考えをもつことができている。(ノート・短冊・発言)</p>
<p>【終末】 ふりかえり (3分)</p>	<p>8 本時の学習をふり返る。 ○今日の学習の振り返りをしましょう。 ・ぼくは、最初は「モチモチの木には灯がついていない」と思ったけど、○○さんの考えを聞いて、灯はついていないけど、勇気のある豆太に見えたのは灯がついたモチモチの木なんだと考えるようになりました。</p>	<p>・友達の考えや意見を聞いて、立場が変わったことや考えが深まったこと、もっと考えてみたいことなどを振り返るよう促す。</p>

(5) 板書計画



学習内容
 「モチモチの木には灯がついたのか」について、どこから考えたのかを示しながら自分の考えを伝える。

学習方法
 自力解決…①自分の考えをノートに書く。
 (線を引いたところを参考に)
 ②短冊に書く。

グループ学習…①短冊を見せ、「どこからそう考えたのか」を示しながら話す。
 ②短冊をもとに、「質問」をしたり、「にている点」、「ちがう点」を話し合ったりする。

全体学習(考察)…③かについての考えをつを行う。